



平成 25 年7月19日 第 3 卷(第7号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

## \*\*\* 目次

1. 現地感想文
2. 現地活動報告
3. 災害支援チームからのお知らせ
4. 事務所感想文

**「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン I」**

**「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン II」**

**好評発行中です。活動継続**

**の為の寄付になっています。**

**皆さま、ぜひご購入のうえ**

**ご覧ください！！**



詳細は、

“3. 災害支援チームからのお知らせ”を  
ご参照ください。

## \*\*\* 1. 現地感想文 \*\*\*

活動期間:2013年 6月20日~6月21日  
渡部 美穂子 ( 山形県 舟山病院 )

### 感想:

8ヶ月ぶりの活動になります。両日、自宅訪問がメインでした。21日は一人で訪問に出掛けました。不安もありましたが、協会のスタッフで活動していることを告げると、みなさんの反応は良好でした。「前は男の人だったよ」「あなたはどこからきたの？前の人は東京から来たんだって」など、前回の訪問者のことも覚えていてくれました。協会のメンバーには会ったことも話したこともないのに、ケースを通じて繋がっているんだなあ、と実感しました。この繋がりを断ち切らないよう、また機会を作って参加します。

活動には関係ありませんが、山形県協会では「石巻復興支援ツアー」と称し、6月30日に日帰りバスツアーを企画しています。「せっかく石巻に行くんだから、現地スタッフにご挨拶しよう!!」ということで、少しお邪魔させていただく予定です。(久保木さん、畑中さんに了解いただきました。ありがとうございます。)

### 活動を検討している皆さんへ一言:

おいしい魚たちが待っています。お酒好きな方には「日高見」をおすすめします。私は、食べて飲むことも支援だと思っています。

活動期間:2013年 7月4日~7月6日  
町原 誠治( 大阪府 済生会泉尾病院 )

### 感想:

昨年に続いて2回目の参加をし、自宅訪問を初めてさせて頂きました。訪問の間の時間に、昨年訪れた被災地域を再び目にもでき、復興に目指した風景を実感しました。地域のイベントにも参加させて頂き「地域力」の実際に触れ、様々な想いを馳せました。今回の参加前に、前向きなことや後ろ向きなことなど色々な考えを持っておりました。しかしながら3日目を迎え、現場の様々な方のお話を伺い、様々な方の姿を見て、現地に来て改めて心がまとまりました。やはり今回も来させていただき感謝いたします。そうして、できるのであれば次年度も参加させて頂きたいと思います。大阪であれこれ机上で考えるより、まず現地に来て見て聞いて感じて、考える。これに尽きます。ソーシャルワーカーはそうであってほしいと思います。東北大震災のあらゆる復興を心から願います。ありがとうございました。

活動期間:2013年 7月4日~7月6日  
東 秀彦 ( 大阪府 済生会吹田病院 )

### 感想:

初めて参加させていただきました。こちらに来るまでは、3日間の活動で何ができるだろうか？逆に足手まといになり邪魔をするだけになるのではないだろうかという不安がありました。初日に訪問する方の面接シートを渡され、これまでの経過を確認した中で支援を必要としている方いること理解し、訪問に行くと初対面の私を日本医療社会協会の者です。と名乗るだけで快く対応していただけた。そういうことから、これまで築き上げてきた信頼関係があり、それを今後も繋いでいくことが自分の役割であることを認識できた。

また、富永さんからは様々な地区から仮設住宅に入居している中で、コミュニティをどう形成していくか。自分たちが全て行っていたのでは住民の力を引き出すことができないため、住民自らがコミュニティを形成する力を今からつけてもらうよう働きかけをしているということを知りました。都市部ではコミュニティの形成が出来ていない中で、震災後のこの時期にそういったことも視野に活動されていることに驚き、また、自分自身のない視点に気付くことができ勉強になりました。大阪に帰ってからも、この支援を繋げられるよう常に話をしていきたいと思います。久保木さん、畑中さん、富永さんお世話になり、ありがとうございました。

## \*\*\* 2. 現地活動報告 \*\*\*

### \*\*\* 7/9 久保木 美由紀 (現地担当)

障がい者総合サポートセンター「くるみ」訪問:引きこもりの家族グループの案内。支援活動の協力について話し合い。石巻圏域の障がい者事業所での事例検討会への参加の提案有。来月より参加予定。

RCI との打ち合わせ:中高年男性向けのイベント企画。「たこ焼きを作ろう！」  
日時:7月22日(月)10時~11時30分 参加者へのアンケートを実施し、その結果で次回開催や内容を検討する。

「不登校、うつ、発達障害を考える」研修会参加(7/6):仙台市内のフリースクール、不登校のサポートセンター代表の方より不登校の現状を伺う。参加者は少数ながらも支援者や当事者、家族。質疑応答は1時間、対応について具体的なアドバイスあり。

### \*\*\* 7/10 久保木 美由紀 (現地担当)

サポートチームでの事例検討会を開催。これまでの支援の振り返りと今後の支援の方向性について検討を行う。

ひきこもり家族グループ支援活動への参加。保健師さんとの情報共有も行う。

\*\*\* 7/11 久保木 美由紀 (現地担当)

仮設支援連絡会: 前回発表頂いたキーワードごとに4つの小グループ(①寄り添う、②地元主体・担い手づくり、③活性化、④地域のつながり、を予定)に分かれ、それぞれのテーマで団体がこれまで関わって来た具体的な活動を紹介いただき、共通課題や解決法を共有し、今後に予想される課題へつなげるワークショップをおこなう。  
大橋プチエリアミーティングへ参加: 事例の報告も行われた。

\*\*\* 7/12 久保木 美由紀 (現地担当)

ケース支援活動を行う。社会保障制度の利用について支援を行う。

\*\*\* 7/15 久保木 美由紀 (現地担当)

新しいメンバーを迎えこれからの活動についての検討を行う。

\*\*\* 7/16 久保木 美由紀 (現地担当)

終日ケース対応を行う。生活の状況が刻一刻と変化する中での的確な支援を継続する為の工夫や、順調な生活ぶりに一安心する。

\*\*\* 7/17 久保木 美由紀 (現地担当)

ケース対応等を行った一日。イベントへの中高年男性へ参加を呼びかける。また、今後の生活支援について検討を行う。

夕方からは震災こころのケア・ネットワークみやぎ からころステーションスキルアップセミナーへ参加

\*\*\* 7/18 久保木 美由紀 (現地担当)

社会保障制度の活用についてケース対応を行う。就労先が見つかったり手帳の申請の為の準備、「ひきこもりの親のグループ」等セルフヘルプグループへの橋渡しなど、生活再建への道のりの長さを感じる。また、創生 NPO センターとの打ち合わせ外部への発信の為の被災体験アンケートについてフォロー対象者への協力依頼。協力していただける方をお願いをする。

## \*\*\* 3. 災害支援チームからのお知らせ \*\*\*

### 【1. 協力員募集】

#### \*\*\* 現 地

現在、1日あたり上限 2 ～ 3名で募集しております。

中3日以上、なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害支援チームまでお気軽にご相談ください。

**但し、初回参加の方は活動日数を3日以上でご参加お願い致します。**

今後、活動に参加される方で初回参加の方には、簡単な資料を郵送致します。ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

#### \*\*\* 事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1～2ヶ月に1回でも構いません。

ご協力をお願い致します。

### 【2. 災害支援チーム会議開催予定のお知らせ】

次回予定 7月20日(土) 13:00～15:00 於協会会議室

### 【3. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』と

『東日本大震災 医療 ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』の

販売を行っています！

発災から2011年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011年10月から2012年12月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地SWとの協働の記録を『バトンⅡ』にまとめました。

ぜひご覧になってください。

尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。

**バトンⅠとバトンⅡとを同時にご購入される場合は合計冊数で送料を頂戴致します。**

**送料表でご確認下さい。**

(注文用紙はホームページからダウンロードできます。)

バトンⅠ: URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)

バトンⅡ: URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=47](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=47)

## 【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

\*\*\* URL \*\*\*

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## 【5.YouTube】

昨年の災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。現在はサポートセンターを活動拠点としております。当時の様子を知っていただく貴重な資料として、YouTube にアップしておりますので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



\*\*\* URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

## \*\*\* 4. 事務所感想文 \*\*\*

\*\*\* 7/1 金子 小夜子 (災害支援チーム事務所)

猛暑と豪雨、日本中が自然の脅威にさらされているこのごろです。  
ニュースでは世界中で発生する異常気象を報じています。  
科学の力でコントロールできるようになるのは何時の事でしょう？

### <編集後記>

毎日暑い日が続いております。連日猛暑の中の熱中症対策が大きく報道されていますが、皆様お変わりございませんか？暑さ対策も大切ですが、暑さを忘れるくらい熱中できるものを見つける事が出来たら、違う意味で熱中症かと。みなさんの熱中症はどんな物ですか？

(編集担当 鴨島病院 医療ソーシャルワーカー一同 )  
東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成 25 年 7 月 19 日 第 3 卷 7 号  
作 成 徳島県医療ソーシャルワーカー協会